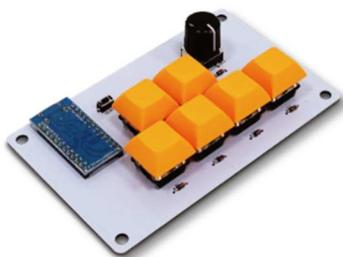


## キー機能登録アプリRemapの使い方



TJ-001 6キーマクロパッド

# REMAP



TJ-002 テンキーマクロパッド

### ● マクロパッドをもっと便利に

キーを押したときの入力文字や機能はウェブアプリ「Remap」を使って自由に設定することができます。キーを組み合わせる機能、例えばファイルの保存、切り取り、検索などを登録したり、ロータリーエンコーダーを回して拡大・縮小、横スクロールや縦スクロールをキーに設定したりと、マクロパッドをもっと便利にもっと使いやすいものにカスタマイズしましょう。

※ Remapは、Remapデベロッパーが提供するウェブサービスです。



ウェブアプリの使用には以下の仕様のパソコンが必要です。

USB端子を搭載した、Windows10以降、Mac OS 10.10以降、またはChromebookで、Chromeブラウザが動作するもの。(※iPad OSには対応していません。)

### ● この説明書について

アプリRemapはいろいろなことができますが、この説明書では最初の体験として、

- ・キーの登録・変更
  - ・ショートカットの登録・変更
  - ・マクロの登録・変更
  - ・機能を出荷時の状態に戻す方法
- について説明しています。

# ● カスタマイズしてみよう

## 1. Ramapサイトにアクセス

<https://remap-keys.app/>

最初の画面が表示されるので、「キーボードをカスタマイズ」をクリック



## 2. TJ-001またはTJ-002をパソコン接続

接続後に、「+キーボード」をクリック



ポップアップ画面が表示されるので

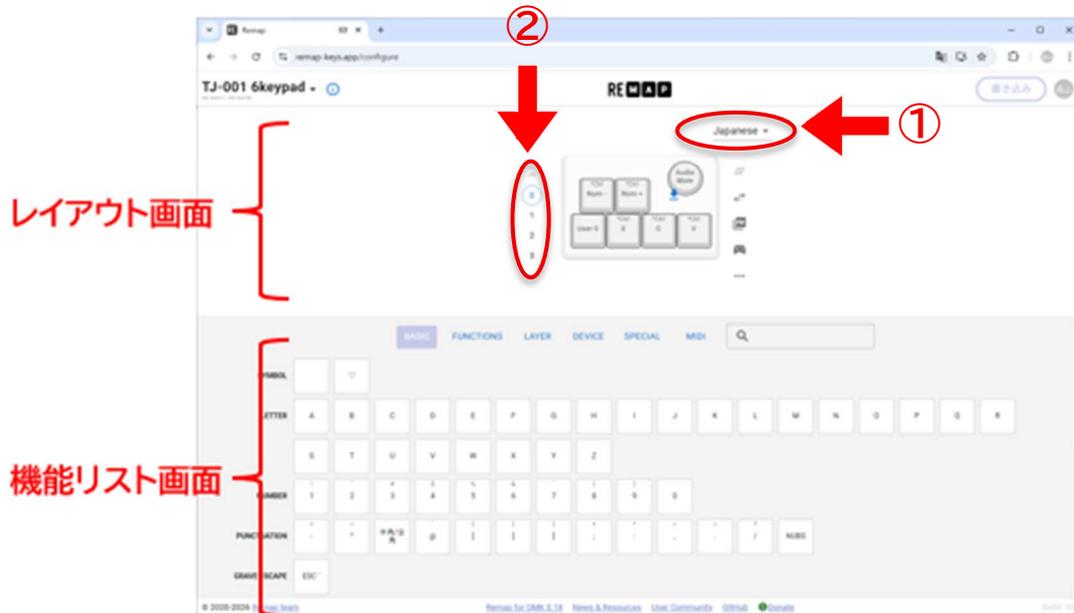
TJ-001またはTJ-002の文字をクリックして選択状態にして、接続をクリック

※このポップアップ画面に、接続したマクロパッドの型番が表示されない場合は、マクロパッド基板上のRESETスイッチを素早く2回押してしばらく待ってみます。

接続したマクロパッドと同じレイアウトのキーボードが画面に表示されます。

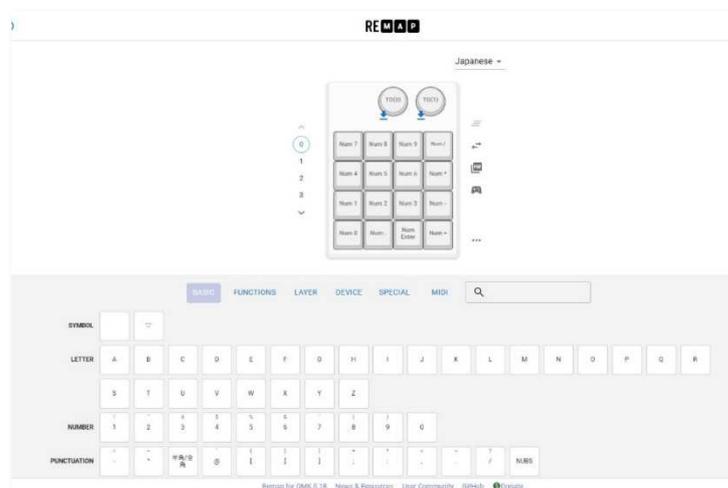
## 画面のみかた

上部のキーボードが表示されている部分を、レイアウト画面、  
下部のたくさんのキーが表示されている部分を、機能リスト画面とします。

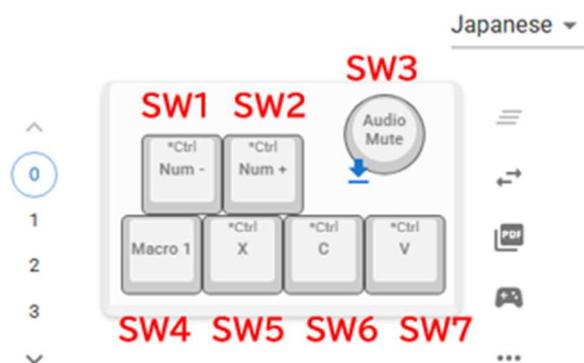


- ※ ①の矢印の部分が「Japanese」になっていない場合はクリックして「Japanese」にしておきましょう。機能リスト画面のキーの表示が日本語キーボード用の表示になります。
- ※ ②の矢印部分は「0」を選んでいる状態にします。1～3は、キーに複数の機能を割りてるなど高度な機能を使うときに使用します。

この説明書では、TJ-001の画面で説明していますが、TJ-002でもレイアウト画面が異なるだけで操作の方法は同じです。



### 3. キーに機能を登録する



#### (1) キーの機能の変更

マクロパッドに割り当てたいパソコンのキーボードのキーを、下部の機能リスト画面から選んで、上部のレイアウト画面のマクロパッドのキーに登録します。

キーに登録:

例 SW5のキーを押すと「e」が入力されるようにする。

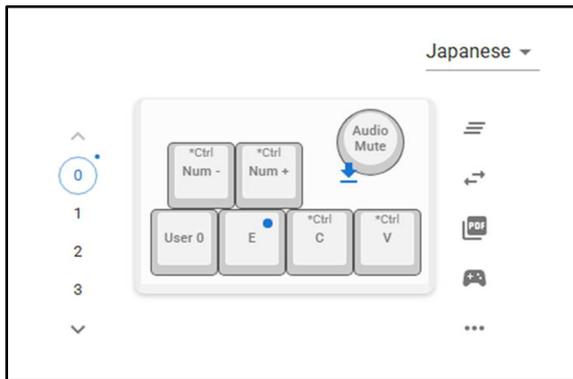
機能リストのタブがBASICになっていなければ、①BASICをクリックします。



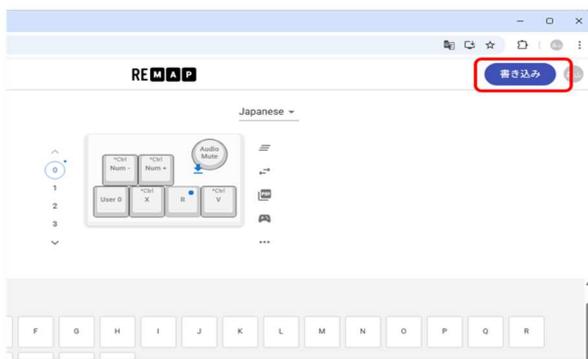
② 「E」をドラッグして、③SW5の上でドロップ

※ パソコンについているキーボードと同じで、Eと表示されているキーを押したときに小文字の e が入力されるように、ここでも E を登録すると e が入力されることになります。

SW5の表示が「E」になります。



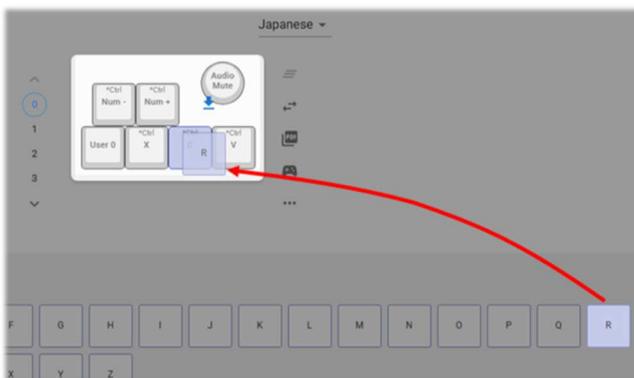
書き込みをクリックすると、接続しているマクロパッドに書き込まれます。



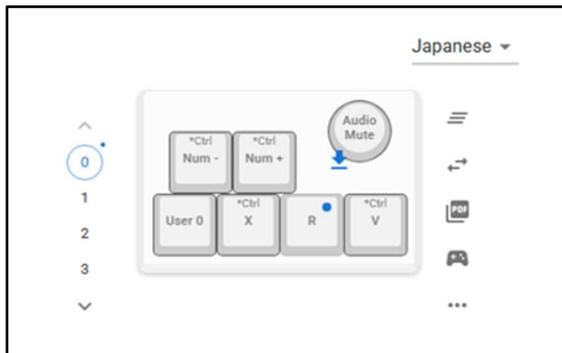
パソコンのテキストエディタ(メモ帳や、Googleドキュメントなど)を開いて、SW5を押すと「e」が入力されます。

例 SW6のキーを押すと大文字の「R」が入力されるようにする。

先ほどと同じように、RをドラッグドロップしてSW6に登録します。



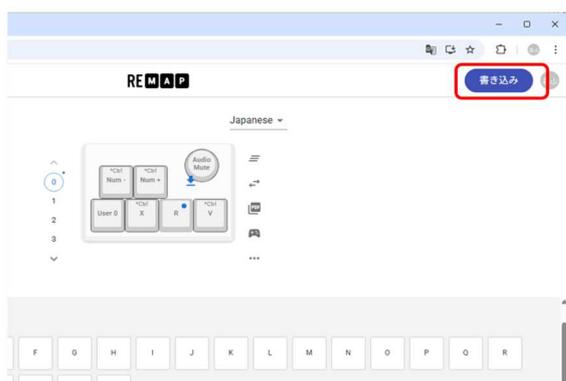
SW6の表示が R になります。



SW6をクリックして、キー設定の詳細画面を開き、下図のように、「Shift」にチェックを入れます。これにより、Shiftを押しながら「r」を押すことになるので、大文字の「R」を入力するという動作になります。



設定が終わったら、書き込みをクリックしてマクロパッドに書き込みます。

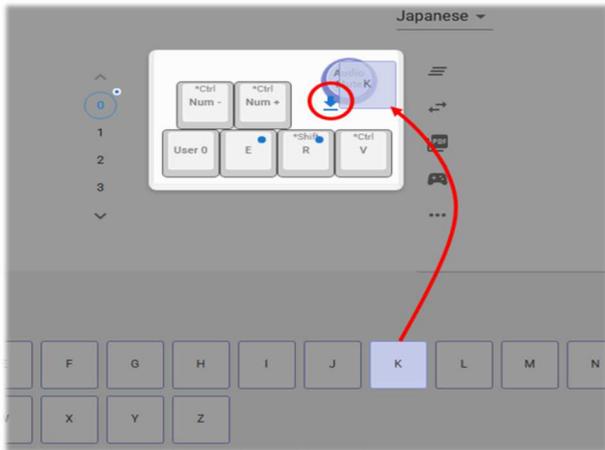


パソコンのテキストエディタ(メモ帳や、Googleドキュメントなど)を開いて、SW5を押すと「R」が入力されます。

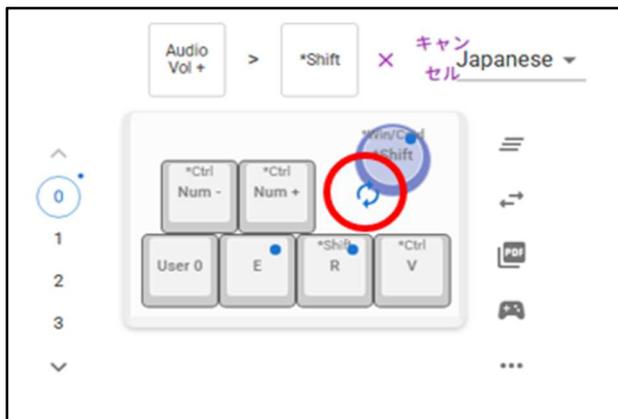
スイッチ付きエンコーダに登録:

例 押したときは「k」が入力され、右に回したら上にスクロール、  
左に回したら下にスクロールする。

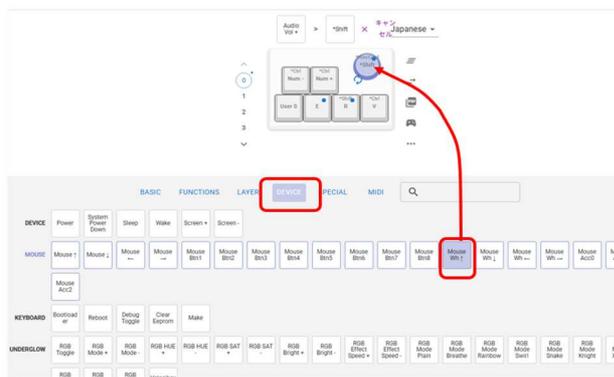
SW3の左下にあるマークが下向きの矢印であることを確認して、機能リスト画面から「K」をドラッグドロップします。



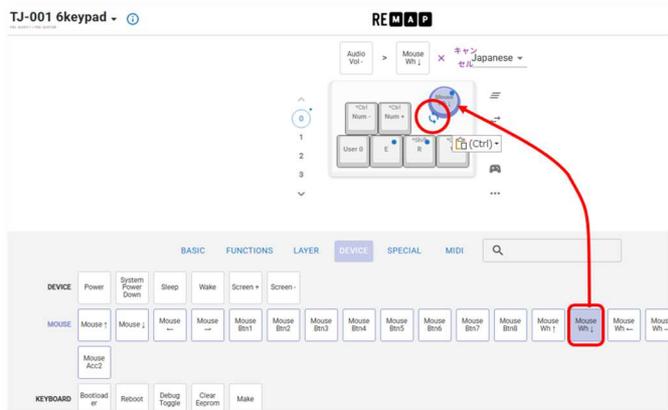
次に、SW3の左下にあるマークをクリックして、右回転の矢印にします。



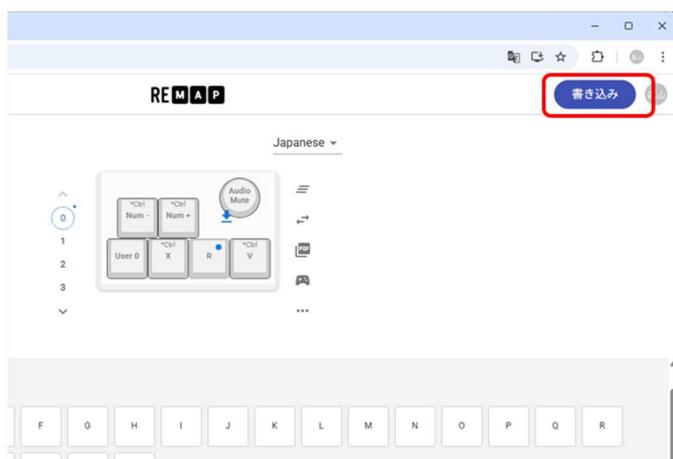
機能リスト画面の DEVICE をクリックし、表示されているリストから、  
「MOUSE Wh ↑」を選びドラッグドロップします。



次に、SW3の左下のマークをクリックして左回転の矢印にし、表示されているリストから、「MOUSE Wh↓」を選びドラッグドロップします。



設定が終わったら、書き込みをクリックしてマクロパッドに書き込みます。



パソコンのテキストエディタ(メモ帳や、Googleドキュメントなど)を開いてSW3を押すと「k」が入力されます。

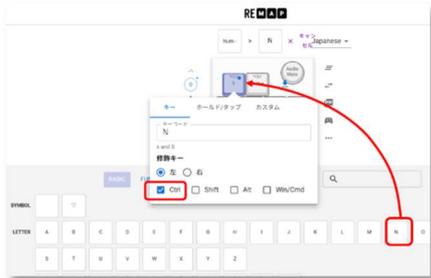
ウェブサイトのような縦長のサイト、またはGoogleスプレッドシートなどを開いてSWを左に回すと下にスクロールし、右に回すと上にスクロールすることを確認します。

## (2) ショートカットの登録

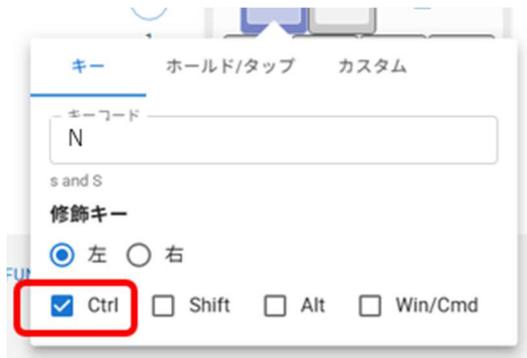
Ctrl + f で検索、Ctrl+s で上書き保存などのよく使うショートカットを1つのキーを押すだけで使えるようにします。

**例 SW1を押すとCtrl+n のショートカット(新しいタブ開く)を実行する。**

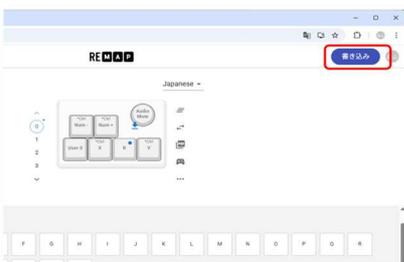
機能リスト画面の「BASIC」をクリックします。レイアウト画面のSW1に機能リスト画面から「N」をドラッグドロップします。



レイアウト画面のSW1をクリックしキー設定の詳細画面を開き、下図のように「Ctrl」にチェックを入れます。これで、Ctrlを押しながら「n」を押すことになるので、「新しいタブを開く」ショートカットをするということになります。



設定が終わったら、書込みをクリックしてマクロパッドに書き込みます。



例えばブラウザを開いている状態でSW1を押すと、新しいタブが開かれます。

※ショートカットはOSにより違う場合があります、お使いの環境のショートカットを利用ください。

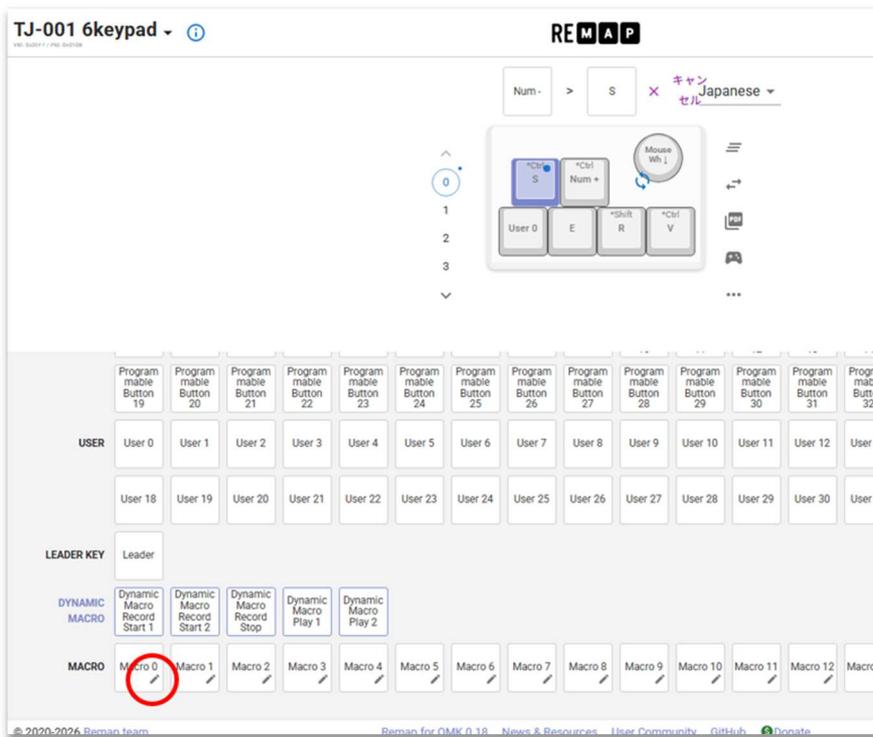
### (3) マクロの登録

マクロの機能を使って、よく使う言葉や単語(文字列といいます)を登録すると、1つのキー操作だけで多くの入力できるようになり便利です。

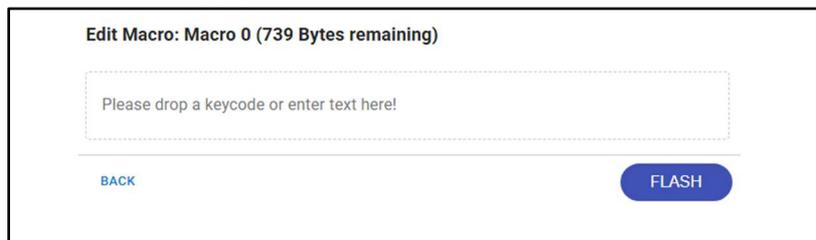
例 SW1を押すと、文字列の Happy が入力される。

マクロは、機能リストのFUNCTIONSの下の方にある鉛筆のアイコンがついた Macro0からMacro15のキーを利用します。

ここではMacro0に登録することにします。Macro0 の右下の鉛筆の絵をクリックすると、マクロ編集画面( Edit Macro: Macro 0 )が表示されます。

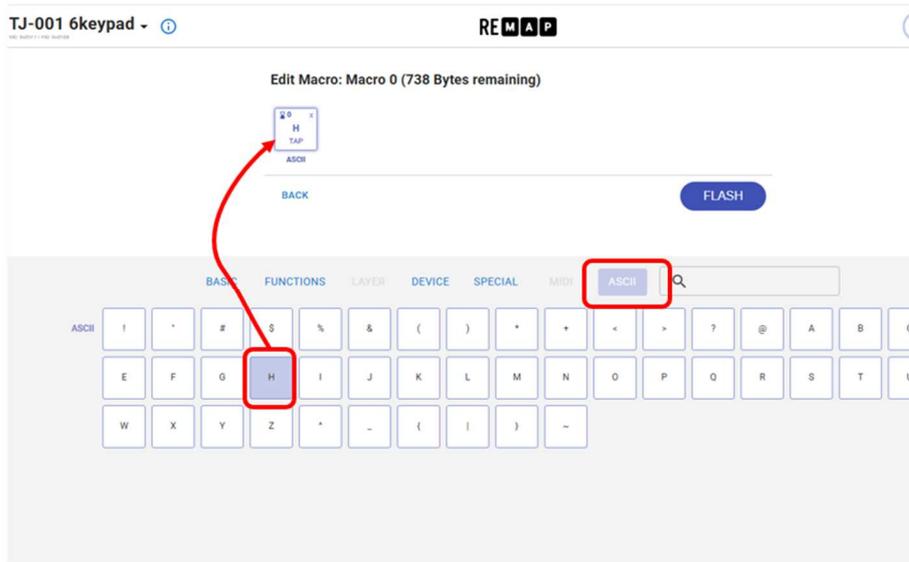


この部分に「Happy」という文字列を並べていきます。

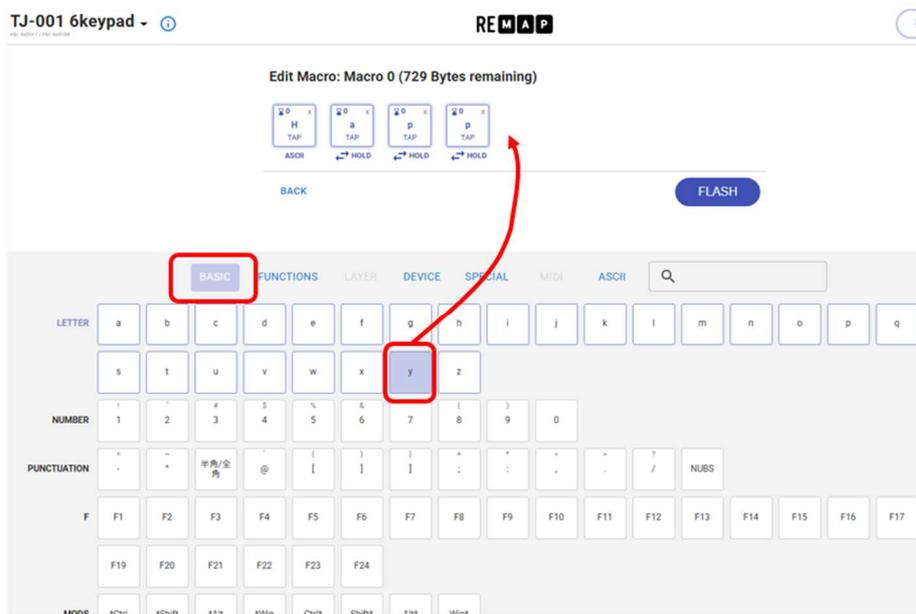


※ 初めてマクロを編集する場合は空欄になっています。2回目以降は以前入力した文字が表示されていることがあります。

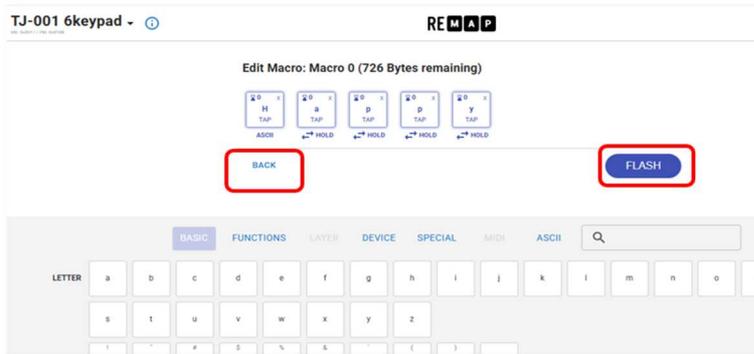
まず、大文字の「H」です。大文字は、機能リストの「ASCII」をクリックして表示されているキーを使います。機能リストにある「H」をドラッグアンドドロップして「Please drop a keycode or enter text here!」と書いてある枠の中に置きます。



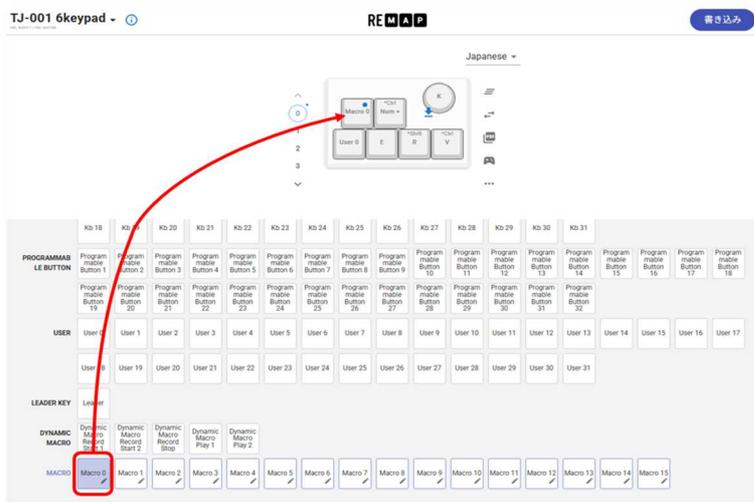
続けて、残りの「appy」も同じようにドラッグアンドドロップで追加します。「appy」は、機能リストの「BASIC」をクリックして表示されているキーから選びます。



追加が終わったら、FLASH ボタンを押します。ボタンを押すことで「Happy」という文字列がマクロの Macro0 キーに登録されます。  
BACK ボタンを押すと、キーボードレイアウト画面に戻ります。



次に、レイアウト画面のSW1のキーに、キー機能の割り当てと同じようにドラッグドロップでMacro 0のキー を割り当てます。



最後に書き込みを押すと、接続しているマクロパッドに書き込まれます。

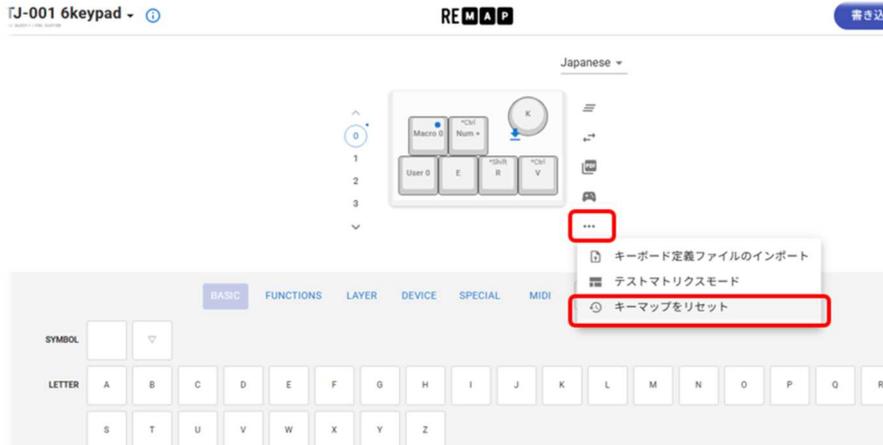


以上でマクロ機能の書き込みが完了です。テキストエディタを開いて、Macro0 を割り当てたSW1を押すと「Happy」が入力されます。

## ● 最初の機能に戻す

マクロパッドのキーの機能を、変更前の状態に戻すこともできます。

レイアウト画面のキーボードの右下に表示されている「...」のマークをクリックし、表示されるメニューリストの中から、「キーマップをリセット」をクリックします。



確認画面が表示されるので、「はい」をクリック。



キーの機能が変更前の状態になります。

※ Remapサイトの中の、「マクロ」に登録した情報(文字列など)は消えません。必要に応じてマクロ編集画面を開いて、消してください。

## ● もっと高度な機能

1つのキーに複雑なショートカットを登録したり、1つだけでなく複数の機能を切り換えて使えるようにしたり、キーボードの機能だけでなく、マウスの機能を持たせたりすることもできます。応用編/発展編の説明書は用意していないので、Remapサイトを使ってみたりウェブ上の情報を参考にしているいろいろな挑戦してみてください。

## ● よくある質問

- Q: 「a」「i」「u」「e」「o」を小文字の英語で入力したいのですが、「あ」「い」「う」「え」「お」と日本語で入力されてしまいます。
- A: パソコンの入力設定(IME)が、「かな入力」になっていると、英文字でなく日本語が入力されることとなります。入力設定を「英数入力」に切り替えてみてください。
- Q: テンキーマクロパッド(TJ-002)のキーを押したときに、数字が入力されずにカーソルが突然移動したりする。
- A: パソコンの入力設定で、NumLockがオフ(解除)になっていると、数字が入力されません。テンキーマクロパッドから数字を入力するためには、NumLockをオンにしておきます。NumLockのオン/オフ方法はお使いパソコンの設定方法を確認してください。
- Q: TJ-001/TJ-002を接続するとパソコンのトラックパッド(タッチパッド)が動かなくなる。
- A: お使いのパソコンに、「外部にマウス機能のある機器を接続するとトラックパッドをオフ(無効)にする。」という設定がされていることが考えられます。パソコンの説明書などを確認して、トラックパッドがオフにならないように設定を変えるなどをしてください。
- ※ TJ-001/TJ-002はキーボードだけでなく、マウスの機能も持っていますので、パソコンからはマウスも接続されていると認識されます。

設定画面の例:

